

ふくしま新ステージ 有識者懇談会 【第2回】

日時：令和元年8月22日 木曜日 午後1時30分～午後4時

場所：福島市役所 4階 庁議室兼防災対策室

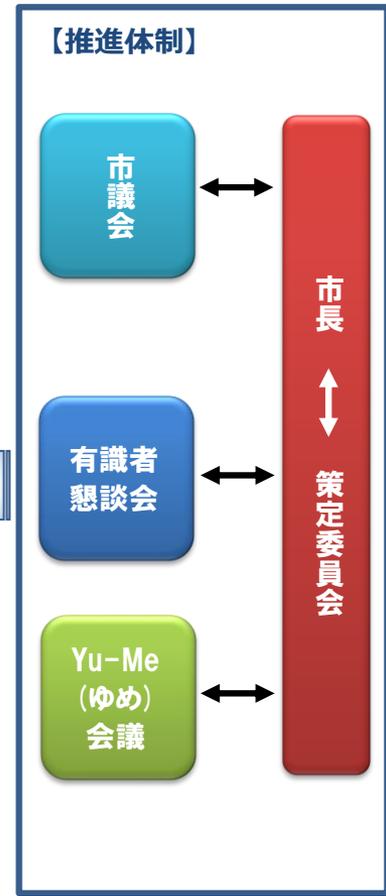
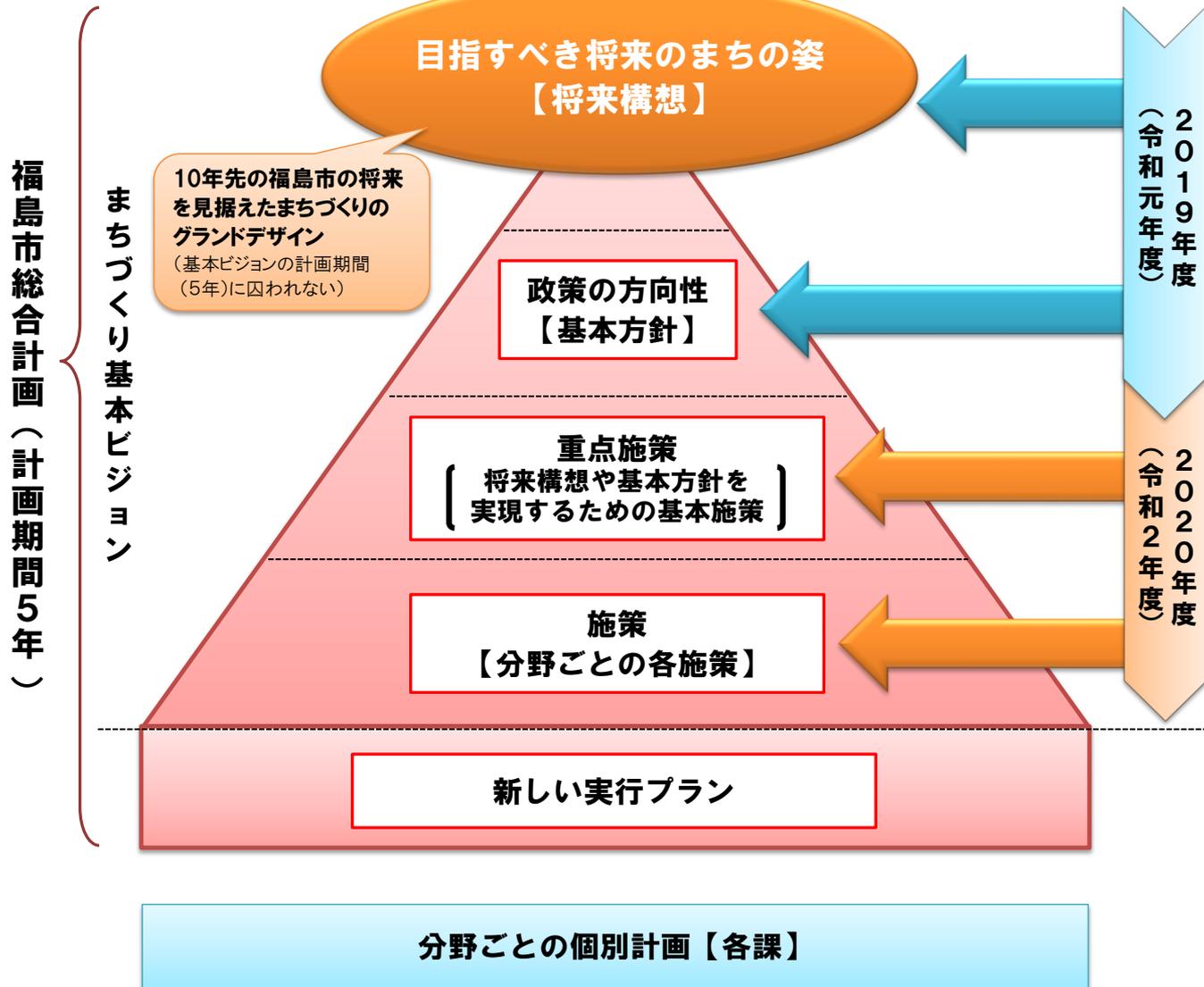
～ 目 次 ～

- (1) 第1回懇談会の振り返り 3**
- (2) 福島市の現状 9**
 - ① 現行総合計画の進捗状況 9 【資料1】
 - ② 福島市の人口推計 14 【資料2】
 - ③ 社会指標分析 15 【資料3】
 - ④ 市民アンケート調査結果 【資料4】
 - ⑤ 中期財政収支見通し 【資料5】
- (3) 総合計画Yu-Me（ゆめ）会議の活動状況 . . . 18**
- (4) 「将来構想」及び「基本方針」 22**
- (5) その他**

(1) 第1回懇談会の振り返り

【総合計画の構成】

【総合計画の構成】

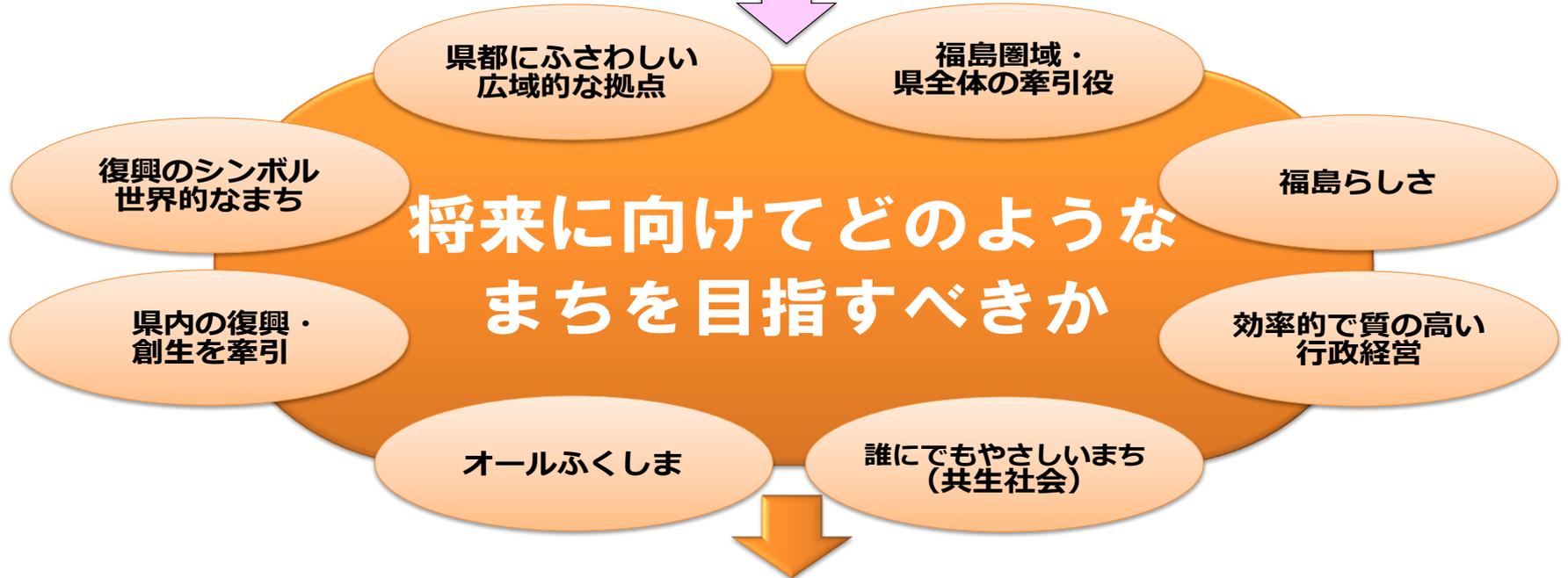


(1) 第1回懇談会の振り返り 【将来構想のポイント】

現状

東日本大震災から9年目、除染は終了
but 復興はまだ道半ば
少子高齢化、人口減少の進行 など課題は山積

中核市移行、オリンピック・パラリンピックの開催、
東北中央自動車道開通、福島駅東口周辺再開発、
古関裕而氏をモデルとしたNHK連続テレビ小説
「エール」放映決定 など新ステージに向けた舞台が整う



～ふくしま新ステージ有識者懇談会～
大所高所の幅広い視点で議論

(1) 第1回懇談会の振り返り

～懇談会時の主なご意見～

- ・現在の総合計画の**進捗状況を確認**し、これら踏まえて新しい総合計画の議論に繋がりたい。
- ・総合計画（施策）の裏付けとなる**将来の財政見通し**の状況を把握する必要がある。
- ・総合計画は総花的な内容になりがちだが、**重点項目、優先順位等を意識して議論**することが必要である。

(1) 第1回懇談会の振り返り

～レポート「将来に向けてどのようなまちを目指すべきか」～

【岡野誠委員】

- ・ 少子化対策：乳幼児保育の充実、教育の低償化
- ・ 高齢化対策：未病化対策、独居老人対策、空き家対策
- ・ 効率ある都市の運営：労働人口の減少による税収減少、公共サービスの縮小化、限界地域の拡大等への市民理解
- ・ 健やかな生活のための適切な自己管理、医療費の抑制。

(1) 第1回懇談会の振り返り

【菅野廣男委員】

- ・ 復興の道半ばである現状において、重要となるのは、「安心、安全なまちづくり」。
- ・ 今後の基本的な目標として、環境を取り戻す、防災施設の充実拡充、風評被害の払拭。
- ・ 具体的には、少子高齢化・人口減少社会を踏まえ、公共施設の戦略的再編整備の推進、教育施設の活用、地域社会における高齢者の生きがい、農業後継者の育成、企業内保育所の拡充、花観光（花回廊）の充実、福島のトピックを活用した情報発信とイメージアップ等を図る。

(1) 第1回懇談会の振り返り

【高橋満彦委員】

- ・幅広い世代の人々が集まる駅周辺の一体的整備と機能集約。
- ・市内の各地域にある特性を強調した、地域の「顔」づくり。

【高谷理恵子委員】

- ・母親同士が安心してつながり合える居場所づくり。
- ・自家用自動車交通に依存した都市構造からの転換。

【三宅祐子委員】

- ・高齢者の運転免許証返納後の生活（移動）支援。
- ・若い人もお年寄りも楽しく触れ合える風格あるふくしまを目指す。

(2) 福島市の現状

① 現行総合計画の進捗状況

現行総合計画（後期基本計画）に掲載している目指す姿や施策が、どの程度進んだかを示す87指標（重複を含む）について、平成30年度末時点の進捗状況をお示しします。

※詳細は「資料1」参照。

◆ 進捗状況の評価方法

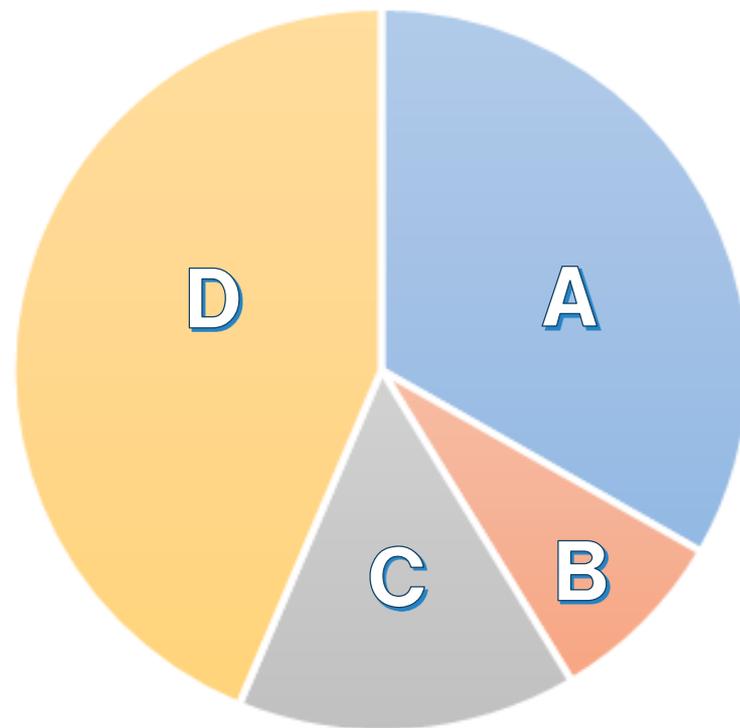
現行総合計画の3年経過（5年計画）時点の進捗状況であるため、60%以上の進捗率を概ね着実に進められている「A評価」とし、以下、20%刻みで4段階評価としました。

(2) 福島市の現状

① 現行総合計画の進捗状況

◆ 進捗状況の全体像

評価（進捗率）	指標数
A（60%以上）	29
B（60%未満40%以上）	7
C（40%未満20%以上）	13
D（20%未満）	38
合計	87



(2) 福島市の現状

① 現行総合計画の進捗状況

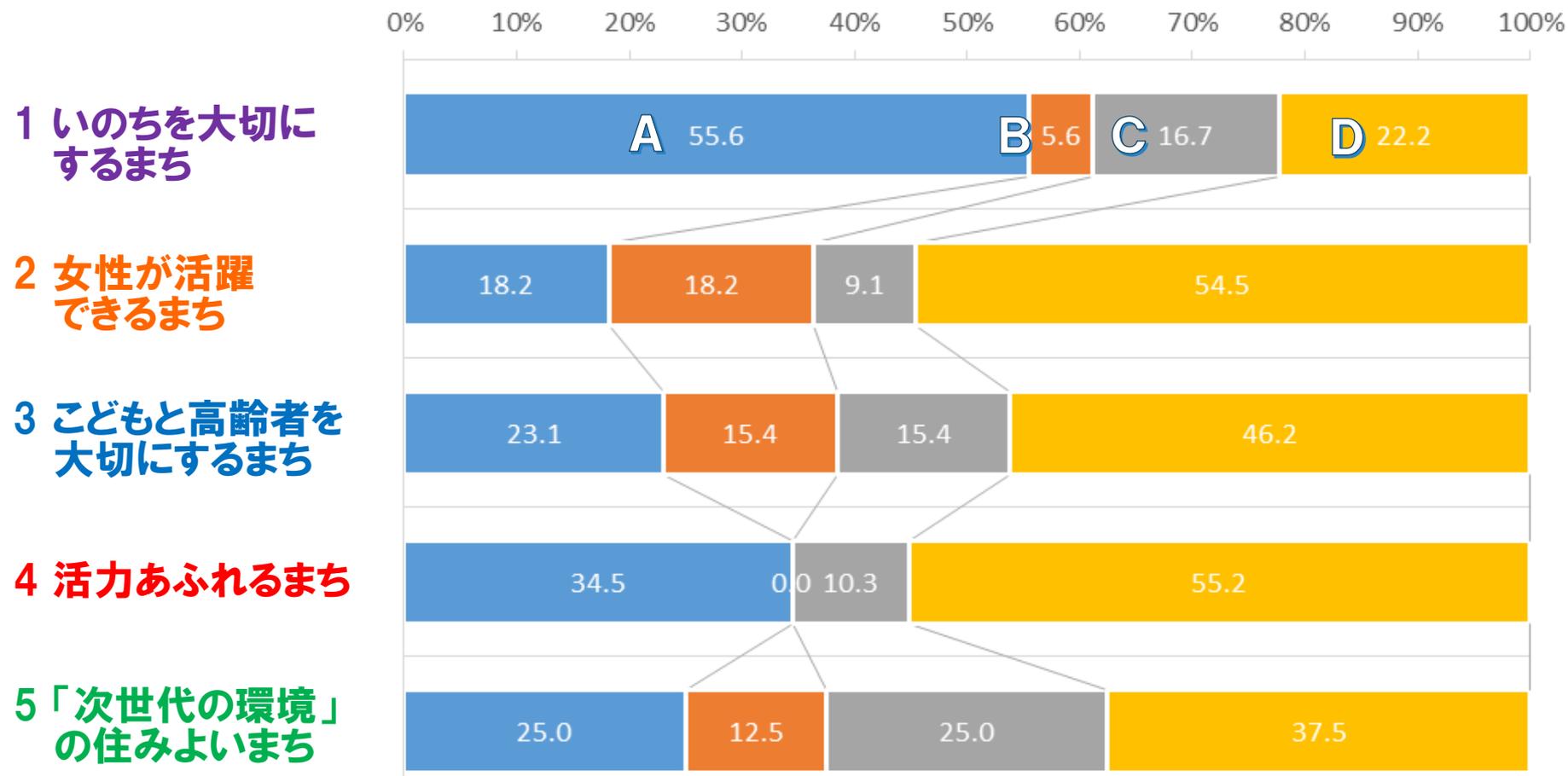
◆ 分野別の指標数及び主な指標名

分野別	指標数	主な指標名
1 いのちを大切に するまち	18	避難者帰還人数、救急救命士の人数、喫煙者の減少、 避難所誘導標識等設置率 etc
2 女性が活躍 できるまち	11	女性の育児休業取得率、保育所施設の定員数、 子宮がん検診を受診する人の割合の増加 etc
3 こどもと高齢者を 大切にするまち	13	学力検査における児童生徒の平均偏差値、 避難行動要支援者地域支援者選定率 etc
4 活力あふれるまち	29	新規就農者数、観光客入込数、 中心市街地の歩行者・自転車通行量 etc
5 「次世代の環境」 の住みよいまち	16	エネルギー自給率、リサイクル率 etc

(2) 福島市の現状

① 現行総合計画の進捗状況

◆ 分野別の進捗状況の割合



(2) 福島市の現状

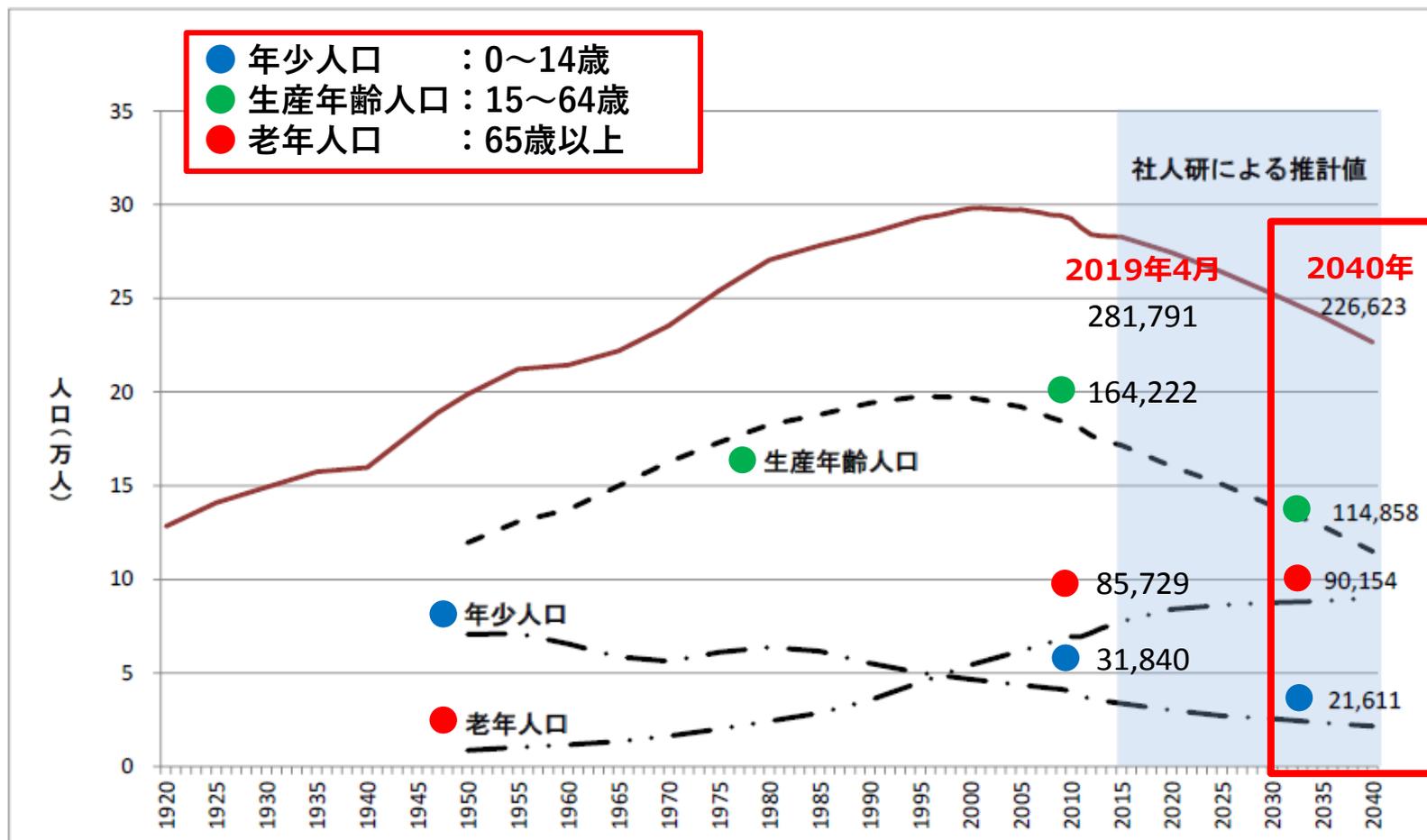
① 現行総合計画の進捗状況

◆ 進捗状況に対する本市としての主な考え方

- ・ 「1 いのちを大切にすまち」は、A評価が過半数を超えており、概ね順調に進捗している。
- ・ 「2 女性が活躍できるまち」、「4 活力あふれるまち」は、D評価が過半数を超えており、今後、事務事業の見直しや改善を図り、施策を展開する必要がある。
- ・ 「3 こどもと高齢者を大切にすまち」、「5 「次世代の環境」の住みよいまち」についても、C及びD評価の割合が高く、今後、事務事業の見直しや改善を図り、施策を展開する必要がある。
- ・ 新しい総合計画の策定にあたっては、施策がどの程度進んだか、より分かりやすく示せるよう、成果指標そのものの見直しや、新たな成果指標の導入を検討する必要がある。
- ・ 令和元年度より、施策評価（4段階評価）を実施し、その中で進捗状況に遅れが見られる施策（指標）については、福島市行政改革推進委員会による外部評価を受け、各担当部において評価が低くなっている要因を踏まえて、今後の取り組み方針を定めることとしている。

(2) 福島市の現状

② 福島市の人口推計



出典：福島市人口ビジョン（2015年から2040年まで 国立社会保障・人口問題研究所推計手法に準拠し行った推計）

(2) 福島市の現状

③社会指標分析

県内同規模・東北県庁所在地と比較した各種統計資料をお示しします。

※詳細は「資料3」参照。

◆分析方法

分析にあたっては、本市が比較対象の自治体と比べて、どの程度の差があるか、偏差値を用いて判定しました。

偏差については、平均値を50として、

☞ 60以上の場合は「◎」

☞ 50以上の場合は「○」

☞ 49以下の場合は「△」

☞ 39以下の場合は「×」 と判定しています。

(2) 福島市の現状

③ 社会指標分析

◆ 比較対象の自治体

【県内同規模・東北県庁所在地（政令指定都市の仙台市除く）】

	自治体名
1	福島市
2	郡山市
3	いわき市
4	青森市
5	盛岡市
6	秋田市
7	山形市

(2) 福島市の現状

③ 社会指標分析

【県内同規模・東北県庁所在地との比較】

No.	判定が◎、○の主な社会指標
32	完全失業率
36	高齢者就業率
60	市民1000人あたり観光客入込数
61 62	平均寿命(男・女)
67	市民1000人あたり医師数

No.	判定が△、×の主な社会指標
30	市民1000人あたり転出者数
76	保育所入所待機児童数
153	市民1人あたりごみ収集量(排出量)
154	ごみリサイクル率
170	水道料金

(3) 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議の活動状況

①第1回 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議
福島市の未来を語る113人!



②第2回 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議
福島市の今を語ろう! 福島市の強みは? 弱みは?

③第3回 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議
まちづくりを体験! 学びと気づきを通して未来を語る

☞限られた財源や社会情勢の中で事業の選択や優先順位を
考える、まちづくりシミュレーションゲームを体験

(3) 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議の活動状況

【総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議 (第1回)】

»未来の福島市がまわりからとてもうらやましがられているとしたら、どのようなまちや暮らしになっているのでしょうか? ※上位を抜粋

項目	件数	キーワード例
①人・コミュニティ	70	市民の一体感、若者と年配者の交流、皆が支え合える世代間
②生活・暮らし	57	住みやすい、生き生きと過ごせる社会、食べ物が美味しい、公共交通機関の充実
③地域活性化	38	資源を有効活用、街中活性化、チャレンジできる街
④産業・観光	30	働きやすい注目させる職種、観光客の誘致
⑤情報発信・PR	27	SNS活用、発信力UP

(3) 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議の活動状況

【総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議 (第2回)】

≫福島市のもっと伸ばしたい「いいない (いいところ・資源)」、ぜひ解決したい「うまぐねえ (わるいところ・課題)」は何ですか? ※上位を抜粋

	項目	件数	キーワード例
伸ばしたい いいない	くだもの・農産物	29	果物、野菜、お米
	温泉	27	温泉地の活性化
	自然	25	自然の豊かさ、花見山

	項目	件数	キーワード例
解決したい うまぐねえ	情報発信・PR	26	PR不足、アピール不足
	地域の活性化	19	街に活気、商業施設の充実
	ごみ	13	ごみ減量、ごみの分別
	公共交通	13	公共交通機関が不便、車がない方 (お年寄り等)に優しい公共交通

(3) 総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議の活動状況

【総合計画Yu-Me (ゆめ) 会議 (第3回)】

»あなたが、これからの福島市にとって、一番大切にしたいことは何ですか？

※上位を抜粋

項目	件数	キーワード例
①人・世代・コミュニティ	52	ひとと人のつながりを大切にする事、各世代が暮らしやすい町
②まちづくり	25	人と社会が調和していて楽しいと思える市になっている
③暮らし	19	全世代が住みやすいまちであること、住んでいる人が満足のいく街
④安全安心	15	安心して住むことができる町、全ての世代の人(外国人含む)が安心して暮らせるまち
⑤地域活性化	15	若い人達の声が聞こえる活気、人口を増やしていき活気がある街にしていく
⑥地元愛・愛着	6	住民が地元を自分事にする、住んでいる人がまちに愛着を持ち暮らしていけるまちづくり

(4) 「将来構想」及び「基本方針」

～将来構想について～

将来構想については、10年先を見据えた福島市の目指すべき将来のまちの姿となるもの。

～基本方針について～

基本方針については、「将来構想」を実現していくための政策の方向性として、まちづくり基本ビジョンの計画期間である5年間の基本的な考え方となるもの。

(4) 「将来構想」及び「基本方針」

～「将来構想」及び「基本方針」の議論にあたって～

【本市として考える将来構想の視点】

県都にふさわしい広域的な拠点、福島圏域・県全体の牽引役、復興のシンボル・世界的なまち、県内の復興・創生を牽引、福島らしさ、オールふくしま、誰にでもやさしいまち、効率的で質の高い行政運営

【市民アンケート調査結果】 ※上位を抜粋

≫福島市に暮らす魅力

- ①自然の豊かさ、②豊富な農産物、③温かい市民性

≫将来の目指すまち

- ①子どもを産み・育てやすい、子育てサポートが充実したまち
- ②健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者など誰もが暮らしやすいまち
- ③防災・防犯対策が充実した、安全で安心して暮らせるまち
- ④緑が豊かな山やきれいな川を大切にし、自然と共生できるまち
- ⑤各種産業（農業、商業、工業など）が盛んで、地域経済が活性化するまち

(4) 「将来構想」及び「基本方針」

～議論～

～ 事務連絡 ～

※第3回懇談会は

と き **11月14日(木)** 午後2時～

ところ **福島市役所 4階 庁議室**

での開催を予定しています。

※本日の懇談会の内容を踏まえ、委員の皆様から
ご意見を頂戴したいと存じます。

大変恐縮ですが、**9月30日(月)まで**に事務局あて
ご意見をお寄せください。